

令和3年度事業報告

当シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」のもと地域に密着した就業を確保し、高齢者に就業機会を提供するとともに、長年培ってきた豊かな経験と知識・技能を充分発揮し、就業を通じて会員の健康と福祉の向上に寄与し、地域社会へ貢献して参りました。

栗原市の人口は、減少傾向が続き、少子・高齢社会となり、高齢化率も年々増加傾向にあります。急速に進む少子高齢化の下、元気で意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持っている高齢者が働くことができる環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることの重要性を指摘しており、シルバー人材センターへの期待は一層大きなものになっていることから、センターはその期待に応えるべく、魅力ある組織として取り組む活動を計画しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症は、未だ収束には至らず、人々の生活に大きな影響を及ぼし、生活スタイルを一変させ続けています。当センターの業務運営にも大きな影響を与え、感染拡大防止のため、多くの事業の中止または縮小を余儀なくされ、受託件数及び契約件数も前年度を下回る結果となりました。今年度は会員・職員に感染者は発生しませんでした。会員には引き続き感染を予防するため、基本的な感染予防の実施を「安全だより」等で周知し、自己のみならず、他人への感染を回避するよう呼びかけました。

シルバー派遣事業については、これまでも年次有給休暇の確実な取得や安全衛生の体制作りに努め、改正有期雇用労働法が、令和3年度より有期雇用労働者にも適用されることに伴い、派遣先に派遣会員への通勤手当を支給するよう交渉し、会員の公正な待遇が確保されるよう努めました。

また、近隣市町より低かった手数料率も、段階的に引き上げることを各事業所に説明をし、了解を得ることができました。

会員の就業については、健康で安全に働くための安全就業基準を定めておりますが、昨年度草刈り作業中の事故が多発しました。会員が共通の安全意識を持ち、事故を未然に防ぐため、草刈安全作業説明会を開催し、常に安全就業の意識を持ち続け、無事故で1日の就業を終えるための草刈作業安全就業ガイドブック及び防護ネット等を配布しました。

事故撲滅を掲げ無事故チャレンジ運動も継続実施や、安全パトロールの強化も行い、会員へ充実した活動を継続するよう周知しました。

1、会員数の拡大と就業の拡充強化

会員数の拡大と就業の拡充はどちらも事業運営の基本であり、役職員並びに会員が常に情報を共有し第2次・中長期計画の年度目標に向けて事業を推進して参りました。

令和3年度の会員数の目標は560名であります、「一人一会員の勧誘」の入会促進の実施や、新聞への折り込みチラシを配布し説明会の開催、女性班によるミニ文化祭の開催等、入会者の加入促進を図りましたが、会員数は519名であり、前年度より9名の減員となり目標を達成出来ませんでした。

入会者の平均年齢は68.1歳で、国の少子高齢化による社会情勢の変化に伴い、労働人口の減少や定年延長等により入会者の年齢が高くなってきたものと思われます。(入会者48名、退会者57名)

	契約件数	就業延人員	契約金額
請負事業	5, 111件	41, 398人	234, 049千円
派遣事業	28件	7, 781人	39, 380千円
合計	5, 139件	49, 179人	273, 429千円
(令和2年度実績)	4, 958件	52, 002人	286, 082千円)

契約件数は増えてましたが、就業延人員と契約金額は前年度より減少しております。新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や休止や、管理業務の減少によるものです。。

現在、一般作業の受注が多い状況ですが、今後も継続できるかが課題であり、調査研究しながら就業拡大の推進をしていかなければならないと考えております。

2、安全就業の推進

会員が就業する上で、安全で安心なシルバー事業の展開を図ることが重要ですが、保険適用の事故は13件でした。内訳はハチ・虫刺されが6件、熱中症が2件、作業中の転倒や機械器具等でのケガが4件、物損が1件発生でしたが昨年度より減少しております。

草刈安全作業及び操作説明会の開催し、「草刈作業安全就業ガイドブック」の配布や、毎月発行している「安全だより」で、注意喚起や安全就業の徹底を呼びかけました。

また、安全適正就業委員会委員による安全パトロールを実施し、作業中の会員に対し安全就業の指導や安全対策を協議し、事故撲滅のため、常に安全就業の意識を持ち続けるよう指導しました。

なお、一人ひとりが自覚を持って、事故のない明るく楽しい就業を心がけて

いただくため、「安全就業推進大会」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため今年度も中止いたしました。

3、健全な財政運営

受託事業収益は234,048千円（前年比94.6%）となり、経常収益計は265,203千円（前年比95.4%）で、経常費用計は、264,829千円（前年比96.0%）でありました。経常収益には、宮城県シルバー連合会より派遣事業手数料が3,531千円（前年度比108.7%）の収益が見込まれた結果、当期一般正味財産額は373千円の増加となりました。コロナ禍において事業の中止や縮小等により前年度を下回る増加となっております。

派遣事業は、毎月のように安定した就業が求められることや『高齢者活用・現役世代雇用サポート事業』という補助事業の活用などがあり、企業及び各種事業所の就業開拓が求められております。派遣事業手数料の増加は、増加する経費を賄うため派遣手数料の改定を行い、引き上げたためです。

コロナ禍のため、事業所の訪問や会員拡大の説明会等縮小しておりますが、受託事業費の拡大と、支出経費を費目毎に創意と工夫により削減を図りながら、各種の事業を推進し健全な財政基盤の確立を目指して参りました。

4、就業技能の向上への会員育成

- 1) 植木剪定講習会
- 2) 清掃スタッフ技術講習会

上記講習会は、専門的な技術習得のため実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。

5、安全就業にかかる講習会

- 1) 運転免許取得者の法定講習会

「派遣事業」は労働基準法が適用され、事業主の責務として運転免許取得者の法令講習が必要となるため、運転適正、運転技能、運転知識の教育訓練を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。

- 2) 草刈機械安全操作講習会

草刈機械の安全操作と機械器具の点検及び事故防止を目的に講習会を実施しました。

- 3) 安全運転講習会
- 4) 救急救命講習会

5) 安全衛生教育訓練

上記講習会及び教育訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。

6、就業先のアンケート調査

シルバー人材センターの就業状況において、企業・事業所及び個人依頼者の評価や意見・要望等を調査することにより、健全な事業運営や就業拡大の推進を図るため、毎年利用者へのアンケート調査を実施しております。

今回は、年3回以上及び10万円以上の受注があった発注者を対象に、アンケート調査を実施しました。

調査対象件数は76件で56件（73.7%）の回答率でした。

依頼された仕事の内容については、除草作業が33.3%、植木剪定が26.9%、その他農作業等でした。

シルバー人材センターを何で知りましたかについては、友人・知人の紹介で知ったが51.7%と多く、広報誌や就業している会員を見て知った等の回答がありました。

仕事の仕上がり度は78.9%が満足、会員の対応については86.0%が良いとの評価をいただきました。

発注者の作業内容は、除草や農作業等の外作業であります。多くの方々から会員の作業内容や対応について、丁寧に要望どおりの作業をして頂いたと評価され、次回も依頼したいという意見がありました。

今後も、常に安全就業の意識を持ち続け、依頼者に信頼される作業を心がけるよう会員に周知して参ります。